

地域計画

策定年月日	令和7年3月27日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大田市 (322059)
地域名 (地域内農業集落名)	上村地区 (上村西)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	8.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	8.5 ha
② 田の面積	7.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.9 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	3.5 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	3.5 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・地域の西側団地は中心的な耕作者が農地を引き受ける意向だが、耕作者の高齢化と後継者不足が進むなか、不在地主農地を中心に遊休農地の増加が課題となっている。また、東側団地は自作地等の耕作はあるものの、大部分が荒廃化しており、解消に向けた検討が急務となっている。
- ・耕作者が減少しており、現耕作者の家族内での後継者育成や地域共同による営農継続に向けた検討が必要。
- ・イノシシ、サル等の鳥獣被害があり、地域全体としての取組が不可欠である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・西側団地エリアは主食用水稻を主要作物として、需要に応じた複数品種の栽培や無化学肥料や減農薬の生産等の環境に優しい農業生産を進める。
- ・東側団地エリアは荒廃農地の解消に向け、飼料作物等の多様な活用を検討し、地域外畜産農家等と連携して、農地利用を検討する。
- ・活用可能な所有者不明農地等は、市、農業委員会へ相談し、耕作再開に向けて進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・西側団地は農地中間管理事業による中心的な利用者への貸付を基本とし、農地利用を進める。			
・東側団地は遊休農地の解消に併せて、農地利用を引き続き検討する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・担い手が利用する農地面積の団地数0団地。担い手の育成を図り、集約化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・西側団地は地域の主たる耕作者が農地中間管理事業による貸借を進める。また、遊休化した農地は要因を調査するとともに対策の検討を進め、利用可能となったものから集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・西側団地全体を農地中間管理機構に貸し付けるとともに、主たる耕作者や土地所有者の意向を踏まえ段階的に集積を進める。
・東側団地は地域計画の取り組みを更に進め、課題解決や遊休農地解消に合わせて段階的に活用を検討する。
(3)基盤整備事業への取組
・西側団地では、排水不良農地の解消や遊休農地の整備・解消が必要である。
・東側団地は大部分が遊休化しており、活用には農地の再生事業が必要である。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地域内の主たる利用者には後継者がいることから、後継者の農業生産への関わりあいを進め、その他の耕作希望者について地域内での確保を進めるとともに、地域営農の共同化を検討する。
・東側団地は、農地再生に併せて多様な活用者について、担い手支援センター等へ相談し、活用者を検討する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・耕作者や園場の状況等を確認しつつ、必要に応じて労力軽減につながる作業や必要な機械を持たない作業を中心に活用の検討を進め、営農活動の維持に努める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ① 集落の一体的な鳥獣被害対策を進め、老朽化した防護柵の点検整備や放置果樹の対応も進める。
② 今後が必要が見込まれる、減農薬水稻「つや姫」等の生産への意向を進める。
⑦ 地域の後継者の育成に併せて農地保全組織による活動取組みを検討する。
⑨ 隣接地区の畜産農家との連携を進め環境保全型農業の拡大に併せて連携を進める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
利用者	1	水稻	4.30 ha	— ha	水稻	4.30 ha	— ha	1	
利用者	2	水稻	1.32 ha	— ha	水稻	1.32 ha	— ha	2	
利用者	3	水稻	0.50 ha	— ha	水稻	0.50 ha	— ha	3	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	3経営体		6.12 ha	0 ha		6.12 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--